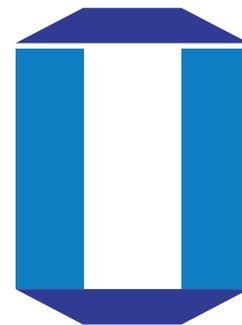


岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2018



OKAYAMA
UNIVERSITY

平成30年度 学生募集要項

アドミッション・オフィス入試（AO入試）

【出願期間】

- ・ ディスカバリー入試【グローバル・ディスカバリー・プログラム】
平成29年9月14日（木）～平成29年9月21日（木）
- ・ AO入試（大学入試センター試験を課すもの）【薬学部】
・ 物理チャレンジ【理学部物理学科】
平成29年10月5日（木）～平成29年10月12日（木）
- ・ AO入試（大学入試センター試験を課すもの）【教育学部・法学部】
平成29年11月1日（水）～平成29年11月8日（水）

1 AO入試（大学入試センター試験を課すもの）

実施学部等		募集人員	
教育学部	小学校教育コース	30人	
	中学校教育コース	国語	5人
		社会	5人
		数学	5人
		理科	5人
		音楽	5人
		美術	5人
		保健体育	5人
		技術	3人
		家庭	3人
		英語	5人
	特別支援教育コース	5人	
	幼児教育コース	5人	
	養護教諭養成課程	10人	
計	96人		
法学部	法学科（昼間コース）	20人	
薬学部	薬学科	7人	
	創薬科学科	5人	
	計	12人	
AO入試 合計		128人	

2 物理チャレンジ

実施学部等		募集人員
理学部	物理学科	3人

3 ディスカバリー入試

実施学部等	入試区分	募集人員
グローバル ディスカバリー プログラム	ディスカバリー入試（一般型）	25人
	ディスカバリー入試（実績評価型）	5人
ディスカバリー入試 合計		30人

（注） ディスカバリー入試を除き、アドミッション・オフィス入試の合格者がその募集人員に満たない場合には、その欠員数を前期日程に含めて選抜します。

目 次

1	AO入試（大学入試センター試験を課すもの）	
	(I) 教育学部	1
	(II) 法学部	8
	(III) 薬学部	11
2	物理チャレンジ	13
3	ディスカバリー入試	15
4	共通事項	
	(I) 出願方法	21
	(II) 出願上の注意	21
	(III) 出願書類	22
	(IV) アドミッション・オフィス入試（AO入試）志願者の一般入試における取扱い	26
	(V) 配点基準	27
	(VI) 学部等別入試担当	28
	(VII) 入学手続	28
	(VIII) WEB出願の流れ	30
	(IX) 出願書類の整理	33
	(X) 受験票ダウンロードについて	33
	(XI) 受験生宿泊申込	35
	(XII) 入試情報の開示	35
5	アドミッションポリシー等	36
6	学生生活等	44
	<small>(1)入学料及び授業料, 2入学料の免除・徴収猶予, 3授業料の免除, 4女子学生寮, 5アパート等の紹介, 6福利厚生施設, 7奨学金制度)</small>	
7	大学案内図等	48

入学試験情報ホームページ

岡山大学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>)から
「受験生の方」をクリックしてください。

1 AO入試（大学入試センター試験を課すもの）

（I）教育学部

1 課程・コース及び募集人員

課程・コース		募集人員	
学校教育教員養成課程	小学校教育コース	30人	
	中学校教育コース	国語	5人
		社会	5人
		数学	5人
		理科	5人
		音楽	5人
		美術	5人
		保健体育	5人
		技術	3人
		家庭	3人
		英語	5人
	特別支援教育コース	5人	
幼児教育コース	5人		
養護教諭養成課程		10人	
合計		96人	

2 出願資格

次の（1）～（3）のいずれにも該当する者

- （1）平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（次表参照）を受験する者
- （2）高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- （3）岡山大学教育学部での勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

課 程	教 科 ・ 科 目
学校教育教員 養成課程	<p>【大学入試センター試験の教科・科目】</p> <p>[5教科7科目又は8科目, 若しくは6教科7科目又は8科目]</p> <p>国語 (国語)</p> <p>地理歴史 (世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B) } から1</p> <p>公民 (現代社会, 倫理, 政治経済, 倫理・政治経済) } から3 (4)</p> <p>理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2若しくは } ※</p> <p>物理, 化学, 生物, 地学から1及び } ※</p> <p>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2) *</p>
	<p>又は</p> <p>地理歴史 (世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理Bから1又は2) } から2</p> <p>公民 (現代社会, 倫理, 政治経済, 倫理・政治経済から1) } から3 (4)</p> <p>理科 (物理, 化学, 生物, 地学から1若しくは } ※</p> <p>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2) *</p> <p>数学 (数学I・数学A)</p> <p>(数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1)</p> <p>外国語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)</p> <p>※ 地理歴史・公民, 理科の科目選択及び成績の用い方は, 下記【解説】を参照</p> <p>* 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する場合, 同一名称を含む科目同士の選択はできません。(同一名称を含む科目とは, 「物理」と「物理基礎」等)</p>
養護教諭養成 課程	

(注)1 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において, これらの科目を履修した者に限ります。

2 外国語のうち, 「英語」については, 「筆記」及び「リスニング」の両方を受験している場合のみ, 科目「英語」を受験していることとなります。(重度難聴者などでリスニングを免除された方を除きます。)

【解説】

① 地理歴史・公民, 理科の受験を要する科目の選択は選択肢1～6のいずれかになります。

教 科	科 目	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6
地理歴史	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	} 1	} 1	} 2	} 2	} 2	} 2
理科	(基礎を付していない科目) 物理, 化学, 生物, 地学	2	1	1	-	2	1
	(基礎を付した科目) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎	-	2	-	2	-	2
教科及び科目数		2教科3科目	2教科4科目	2(3)教科3科目	2(3)教科4科目	2(3)教科4科目	2(3)教科5科目

(次のページへ続く)

- ② 地理歴史・公民及び理科の成績の用い方は以下のとおりです。
- 選択肢1～4の場合は、そのすべての成績を用います。(合計3(4)科目)
 - 選択肢5、6の場合は、以下の方法により成績を用います。

教科	科目	選択肢5の場合		選択肢6の場合	
		第1解答科目	第2解答科目	第1解答科目	残り2(3)科目
地理歴史	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	} 1	1 } から 1	} 1	} 1 } から 2(3)
公民	現代社会, 倫理, 政治経済, 倫理・政治経済				
理科	(基礎を付していない科目) 物理, 化学, 生物, 地学	1	1		1
	(基礎を付した科目) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎	—	—		又は 2
教科及び科目数		2教科3科目 又は 3教科3科目		2教科3(4)科目 又は 3教科3(4)科目	

※ 下線を引いた数字は、成績を用いる科目と、その数。

※ 選択肢6の場合の () の数は、理科(基礎を付した科目)の成績を用いた場合の科目数の計。

- ・【選択肢5の場合】(「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科(基礎を付していない科目)」から2科目受験している場合)；
センター試験受験の際、選択した「地理歴史」・「公民」の第1解答科目及び「理科(基礎を付していない科目)」の第1解答科目の成績は必ず用います。さらに、残りの2科目(「地理歴史」・「公民」の第2解答科目と「理科(基礎を付していない科目)」の第2解答科目)の中から高得点の1科目の成績を用います。(合計3科目)
- ・【選択肢6の場合】(「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科(基礎を付していない科目)」から1科目と「理科(基礎を付した科目)」から2科目受験している場合)；
「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の成績は必ず用います。さらに、残りの4科目(「地理歴史」・「公民」の第2解答科目と「理科(基礎を付していない科目)」と「理科(基礎を付した科目)」(2科目の合計得点)の中から高得点の2(3)科目の成績を用います。(合計3(4)科目)

3 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。
30～33ページの(VIII) WEB出願の流れ及び(IX) 出願書類の整理をよく読み、手続きを行ってください。

(2) 出願期間

平成29年11月1日(水)から平成29年11月8日(水) 17時(必着)

(注) これ以降に到着したものは、平成29年11月7日(火)の消印のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 特例事項

やむを得ず持参する場合は、平成29年11月8日(水)に限り認めます。

同日の9時00分から17時00分までに、28ページの学部等別入試担当にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

4 受験票のダウンロード

- (1) 受験票は、受付完了後、本人あてにメールで連絡しますので、ダウンロードして印刷してください。
なお、メールが平成29年11月14日（火）までに到着しない場合は、学務部入試課に問い合わせてください。詳細については33～34ページを参照してください。

連絡先：【電話 (086)251-7192～7194】

- (2) 受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

5 入学者選抜方法等

入学者選抜は、第1次選抜及び最終選抜に分けて行います。

(1) 第1次選抜

- ① 自己推薦書・調査書により書類審査を行います。
- ② 第1次選抜の合格者は、原則として、各募集人員の5倍程度とします。

(2) 最終選抜

平成30年度大学入試センター試験の成績、面接（口述試験等を含みます。課程・コース・教科によっては、発表、実技試験、作品・作品集の評価等を含みます。）の結果及び書類審査（自己推薦書・調査書）を総合して行います。

(3) 面接の試験実施日時及び試験場

試験日	教科等	時間	試験場
平成30年1月27日（土） 1月28日（日）	面接	9時00分～	教育学部

(注) 詳細については、受験票のダウンロード通知メールを送付する際にお知らせします。

(4) 大学入試センター試験

本学の平成30年度入学者選抜においては、大学入試センター試験の過年度成績利用は行いません。

(5) 配点基準

27～28ページを参照してください。

面接に含まれる内容

募集単位	教科等	内 容 等
小学校教育コース	面接	小学校教育に関して、あなたが最も関心を持って調べたり、考えたりしていることについて、A4判片面3枚までの資料を使用して、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 国語	面接	国語に関して、あなたが特に関心を持っているテーマについて、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、資料・メモ等は使用できません。ただし、面接室にある黒板とチョークは使用できます。
中学校教育コース 社会	面接	地理歴史科・公民科の内容の中で、あなたが特に関心を持っているテーマについて、A4判片面3枚までの資料を使用して、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 数学	面接	集合と命題についての質問を含んだ口述試験を行います。なお、資料・メモ等は使用できません。ただし、面接室にある黒板、チョークは使用できます。
中学校教育コース 理科	面接	理科の内容(物理・化学・生物・地学)の中で、あなたが特に関心を持って取り組んだ探究課題について、A4判片面3枚までの資料を使用して、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 音楽	面接	面接には実技試験と口述試験が含まれます。実技試験では演奏と歌唱を行います。演奏は、任意の声楽曲あるいは器楽曲を1曲暗譜で行います。④ 2、3 歌唱は、当日指定された平易な歌曲数曲の楽譜の中から、あなたが最も歌いやすいものを1曲選択して歌ってください。口述試験には、実技試験の演奏と歌唱についての質問が含まれます。
中学校教育コース 美術	面接	作品1点(大きさは平面F50号又はB1判以内、立体(頭象程度)と、自己推薦書の活動体験の記録に対応する作品集(ポートフォリオ、A4判のクリアファイル・フォルダを使用)を面接当日に持参してください。それらに関する質問を含んだ口述試験を行います。
中学校教育コース 保健体育	面接	「今までのスポーツ経験」について、A3判片面1枚の資料と自分のスポーツ経験を意味づける資料集(ポートフォリオ、A4判のクリアファイル・フォルダを1冊使用)を用いて、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用するA3判の資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部と資料集を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 技術	面接	中学校の技術科の内容の中で、あなたが最も関心を持っていることについて、A4判片面3枚までの資料を使用して、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 家庭	面接	小学校、中学校、高等学校の家庭科の内容の中で、あなたが特に関心を持っているテーマについて、A4判片面3枚までの資料を使用して、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部(コピー可)持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。④ 1
中学校教育コース 英語	面接	英語に関して、あなたが特に関心を持っていることについて、3分間程度で発表してください。使用する言語は英語でも日本語でもかまいません。この発表に関する質問を含んだ口述試験を、英語と日本語で行います。なお、資料・メモ等は使用できません。ただし、面接室にある黒板とチョークは使用できます。
特別支援教育 コース	面接	特別支援教育に関して、あなたが最も関心を持って調べたり、考えたりしていることについて、3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、資料・メモ等は使用できません。
幼児教育コース	面接	4歳児学級の子どもに読み聞かせたいと思う物語絵本を1冊読んでおいてください。その絵本に関連する質問を含んだ口述試験を行います。なお、資料・メモ等は使用できません。また、席から立ち上がって身体表現等を行ってはいけません。

募集単位	教科等	内 容 等
養護教諭養成課程	面接	まず学校保健委員会について、調べてきてください。次に、あなたが現在在籍する学校（あるいはかつて在籍した学校でもよい）において、「学校保健委員会で取り上げたいこと」についてB4版片面1枚の資料を作成してください。その資料を使って、養護教諭の仕事と関連付けて3分間程度で発表してください。この発表に関する質問を含んだ口述試験を行います。なお、使用する資料は同じものを5部（コピー可）持参してください。そのうちの1部を使って発表してもらいます。 ※1

(注) 1 持参を求められた資料以外の資料やメモ等は使用できません。また、特定の1部の資料に書き込み等をしておくことはできません。なお、資料は全て回収します。持ち帰ることはできません。

2 声楽曲を演奏する場合には、演奏する調の「伴奏用楽譜」を出願書類に添えて提出してください。楽譜の大きさは、1ページにつきA4判縦とし、各ページを全開できるように製本してください。楽譜には、氏名を記載してください。

3 管弦打楽器を演奏する場合には、無伴奏で演奏していただきます。楽器は各自持参してください。なお、大型楽器等を搬入する場合には出願前に教育学部入試担当(28ページの学部等別入試担当参照)に相談してください。

6 合格者発表等

(1) 第1次選抜の実施の有無

- ① 平成29年11月13日（月）までに、受験票のダウンロード通知メールと同時に、入学志願者全員に「第1次選抜実施の有無の通知」のダウンロード通知メールを送付します。また、本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) に第1次選抜の実施の有無を掲載します。
なお、メールが平成29年11月14日（火）までに到着しない場合は、学務部入試課にお問い合わせください。

連絡先：【電話 (086)251-7192～7194】

- ② ホームページへの掲載期間は、平成29年11月13日（月）から平成29年11月20日（月）までとします。
- ③ 第1次選抜を実施しない場合は、「最終選抜に関する連絡事項等」を併せて通知します。

(2) 第1次選抜を実施した場合の合格者発表

平成29年12月15日（金）13時00分の予定

- ① 同日付け郵便で、合格者には「合格通知書」及び「最終選抜に関する連絡事項等」を、不合格者には「不合格通知書」を本人あてに発送します。
- ② 本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) に第1次選抜合格者の受験番号を掲載します。
なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年12月15日（金）から平成29年12月21日（木）までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。
- ⑤ 第1次選抜の不合格者には、本人の申し出により、検定料の一部（13,000円）を返還します。返還手続の方法等は、第1次選抜の結果とともに通知します。

(3) 最終合格者発表

平成30年2月6日(火) 14時00分の予定

- ① 教育学部掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで、合格者には合格通知書及び入学案内等(入学手続書類)を本人あてに発送します。
- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ(<http://www.okayama-u.ac.jp>)にも合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成30年2月6日(火)から平成30年2月13日(火)までとします。
- ④ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

(4) アドミッション・オフィス入試(AO入試) 志願者の一般入試における取扱い
26ページを参照してください。

(Ⅱ) 法 学 部

1 学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
法学科 (昼間コース)	20人

2 出願資格

次の(1)～(3)のいずれにも該当する者

- (1) 平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(次表参照)を受験する者
- (2) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (3) 岡山大学法学部での勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教 科 ・ 科 目
法 学 科 (昼間コース)	【大学入試センター試験の教科・科目】[1教科1科目] 外国語(英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)

(注) 外国語のうち、「英語」については、「筆記」及び「リスニング」の両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。(重度難聴者などでリスニングを免除された方を除きます。)

3 出願手続

- (1) 出願方法
出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。30～33ページの(VIII) WEB出願の流れ及び(IX) 出願書類の整理をよく読み、手続を行ってください。

- (2) 出願期間

平成29年11月1日(水)から平成29年11月8日(水) 17時(必着)

(注) これ以降に到着したものは、平成29年11月7日(火)の消印のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

- (3) 特例事項

やむを得ず持参する場合は、平成29年11月8日(水)に限り認めます。

同日の9時00分から17時00分までに、28ページの学部等別入試担当にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

4 受験票のダウンロード

- (1) 受験票は、受付完了後、本人あてにメールで連絡しますので、ダウンロードして印刷してください。
なお、メールが平成29年11月14日（火）までに到着しない場合は、学務部入試課にお問い合わせください。詳細については33～34ページを参照してください。

連絡先：【電話 (086)251-7192～7194】

- (2) 受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

5 入学者選抜方法等

入学者選抜は、第1次選抜及び最終選抜に分けて行います。

- (1) 第1次選抜
- ① 面接の評価と書類審査（自己推薦書・調査書）の結果により選考を行います。
 - ② 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の2倍程度とします。

- (2) 面接の試験実施日時及び試験場

試験日	教科等	時間	試験場
平成29年12月2日（土）	面接 (口述試験を含みます。)	10時00分～	法学部

(注) 詳細については、受験票のダウンロード通知メールを送付する際にお知らせします。

- (3) 最終選抜
平成30年度大学入試センター試験の成績と第1次選抜（面接の評価、書類審査）の結果で総合的に判定します。ただし、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の得点が、合格基準点（120点）に満たなかった者は不合格者とします。
- (4) 大学入試センター試験
本学の平成30年度入学者選抜においては、大学入試センター試験の過年度成績利用は行いません。
- (5) 配点基準
27～28ページを参照してください。

6 合格者発表等

- (1) 第1次選抜合格者発表
平成29年12月15日（金）13時00分の予定
- ① 同日付け郵便で、合格者には「合格通知書」及び「最終選抜に関する連絡事項等」を、不合格者には「不合格通知書」を本人あてに発送します。
 - ② 本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) に第1次選抜合格者の受験番号を掲載します。
なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
 - ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年12月15日（金）から平成29年12月21日（木）までとします。
 - ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(2) 最終合格者発表

平成30年2月6日(火) 14時00分の予定

- ① 法学部掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付で、合格者には合格通知書及び入学案内等(入学手続書類)を本人あてに発送します。
- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ(<http://www.okayama-u.ac.jp>)にも合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成30年2月6日(火)から平成30年2月13日(火)までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(3) アドミッション・オフィス入試(AO入試) 志願者の一般入試における取扱い

26ページを参照してください。

(Ⅲ) 薬 学 部

1 学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
薬 学 科 (6年制)	7人
創薬科学科 (4年制)	5人
計	12人

2 出願資格

次の(1)～(3)のいずれにも該当する者

- (1) 平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(次表参照)を受験する者
- (2) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (3) 岡山大学薬学部での勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教 科 ・ 科 目
薬 学 科 創薬科学科	<p>【大学入試センター試験の教科・科目】[5教科7科目]</p> <p>国語(国語)</p> <p>地理歴史(世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B) } から1</p> <p>公民(現代社会, 倫理, 政治経済, 倫理・政治経済)</p> <p>数学(数学I・数学A) (数学II・数学B)</p> <p>理科(物理又は生物から1, 化学(必須)の計2)</p> <p>外国語(英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)</p>

- (注) 1 「地理歴史」・「公民」について、指定された教科・科目の中で複数受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 2 外国語のうち、「英語」については、「筆記」及び「リスニング」の両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。(重度難聴者などでリスニングを免除された方を除きます。)

3 出願手続

- (1) 出願方法
出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。30～33ページの(VIII) WEB出願の流れ及び(IX) 出願書類の整理をよく読み、手続きを行ってください。
- (2) 出願期間

平成29年10月5日(木)から平成29年10月12日(木) 17時(必着)
--

- (注) これ以降に到着したものは、平成29年10月11日(水)の消印のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。
- (3) 特例事項
やむを得ず持参する場合は、平成29年10月12日(木)に限り認めます。
同日の9時00分から17時00分までに、28ページの学部等別入試担当にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

4 受験票のダウンロード

- (1) 受験票は、受付完了後、本人あてにメールで連絡しますので、ダウンロードして印刷してください。
なお、メールが平成29年10月18日（水）までに到着しない場合は、学務部入試課にお問い合わせ
てください。詳細については33～34ページを参照してください。

連絡先：【電話 (086)251-7192～7194】

- (2) 受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておい
てください。

5 入学者選抜方法等

平成30年度大学入試センター試験の成績、小論文(英文の資料を用いて出題することがあります。)、
面接(口述試験を含みます。)の結果及び書類審査(自己推薦書・調査書)を総合して行います。

- (1) 小論文、面接の試験実施日時及び試験場

試験日	教科等	時間	試験場
平成29年12月2日(土)	小論文 (英文の資料を用いて出 題することがあります。)	9時00分～ 11時00分	薬学部
	面接 (口述試験を含みます。)	13時00分～	

- (注) 1 詳細については、受験票のダウンロード通知メールを送付する際にお知らせします。
2 小論文試験終了後、面接試験についての説明等を行います。(約40分程度)

- (2) 大学入試センター試験
本学の平成30年度入学者選抜においては、大学入試センター試験の過年度成績利用は行いません。
- (3) 配点基準
27～28ページを参照してください。

6 合格者発表等

- (1) 平成30年2月6日(火) 14時00分の予定

- ① 薬学部掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付で、合格者には合格通知書及び入学案内等
(入学手続書類)を本人あてに発送します。
- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ(<http://www.okayama-u.ac.jp>)にも合格者の受験
番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかる
ことが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成30年2月6日(火)から平成30年2月13日(火)まで
とします。
- ④ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

- (2) アドミッション・オフィス入試(AO入試)志願者の一般入試における取扱い
26ページを参照してください。

2 物理チャレンジ

1 学部・学科及び募集人員

学部・学科	募集人員
理学部物理学科	3人

2 出願資格

次の(1)～(3)のいずれにも該当する者

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 全国物理コンテスト「物理チャレンジ」※に参加し、第2チャレンジに出場した者
- (3) 岡山大学理学部での勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

※「物理チャレンジ」について

大学等に入学する前の青少年を対象として、物理の持つ面白さと楽しさを体験してもらうことを目的とする全国的な催しです。また、国際物理オリンピック日本代表の道へ続いています。
(詳細は、ホームページ <http://www.jpho.jp/> を参照してください。)

3 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。
30～33ページの(VIII)WEB出願の流れ及び(IX)出願書類の整理をよく読み、手続きを行ってください。

(2) 出願期間

平成29年10月5日(木)から平成29年10月12日(木) 17時(必着)

(注) これ以降に到着したものは、平成29年10月11日(水)の消印のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 特例事項

やむを得ず持参する場合は、平成29年10月12日(木)に限り認めます。

同日の9時00分から17時00分までに、28ページの学部等別入試担当にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

4 受験票のダウンロード

(1) 受験票は、受付完了後、本人あてにメールで連絡しますので、ダウンロードして印刷してください。

なお、メールが平成29年10月18日(水)までに到着しない場合は、学務部入試課に問い合わせてください。詳細については33～34ページを参照してください。

連絡先：【電話 (086)251-7192～7194】

(2) 岡山大学受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要となるので、大切に保管しておいてください。

5 入学者選抜方法等

書類審査（自己推薦書・調査書等）のみで行います。
配点基準については、27～28ページを参照してください。

6 合格者発表等

(1) 平成29年12月15日（金）13時00分の予定

- ① 理学部掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付で、合格者には合格通知書及び入学案内等（入学手続書類）を本人あてに発送します。
- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ（<http://www.okayama-u.ac.jp>）にも合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年12月15日（金）から平成29年12月21日（木）までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(2) アドミッション・オフィス入試（AO入試）志願者の一般入試における取扱い 26ページを参照してください。

3 ディスカバリー入試

1 学部等及び募集人員

学部等	募集人員
グローバル・ディスカバリー・プログラム	ディスカバリー入試（一般型） 25人
	ディスカバリー入試（実績評価型） 5人

ディスカバリー入試（一般型）の合格者が募集人員に満たない場合は、欠員数をディスカバリー入試（実績評価型）に含めて選抜し、ディスカバリー入試（実績評価型）の合格者が募集人員に満たない場合は、欠員数をディスカバリー入試（一般型）に含めて選抜します。

ディスカバリー入試（実績評価型）出願者は、自動的にディスカバリー入試（一般型）との併願になり、ディスカバリー入試（実績評価型）第1次選抜で合格判定基準に達しない場合は、ディスカバリー入試（一般型）出願者として第1次選抜から審査します。

2 出願資格

ディスカバリー入試（一般型）

次の（1）～（2）のいずれにも該当する者

（1）次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
 - ② 高等専門学校の第3学年を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
 - ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑤ 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレアなど、外国の大学入学資格の保有者で平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査（※1）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
- （2）岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラムでの勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

ディスカバリー入試（実績評価型）

次の（1）～（3）のいずれにも該当する者

（1）次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- ② 高等専門学校の第3学年を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレアなど、外国の大学入学資格の保有者で平成30年3月31日までに18歳に達する者
- ⑥ 本学において、個別の入学資格審査（※1）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

(2) 次のいずれかに該当する項目を有する者 (※2)

- ① 人文社会や自然科学に関する研究や英語運用能力を競う全国大会等での実績
- ② 海外でのフィールドワークや研修など、選考を経て参加した海外での活動体験
- ③ 世界各国の高校生が集まって開かれた国際会議・国際大会への参加
- ④ 海外の中等教育学校での6ヶ月以上の修学経験
- ⑤ その他、上記に準ずる実績等

(3) 岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラムでの勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

※1 ディスカバリー入試(一般型)の出願資格(1)の⑥またはディスカバリー入試(実績評価型)の出願資格(1)の⑥における入学志願者は、出願前に本学において入学資格認定のための入学資格審査を行います。詳細は、25ページを参照してください。

※2 ディスカバリー入試(実績評価型)の出願資格(2)の出願資格の有無については、出願前に本学において実績等を確認の上、判断しますので、平成29年8月31日(木)までにグローバル・ディスカバリー・プログラム事務局【メールアドレス admission_discovery@adm.okayama-u.ac.jp】に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。30~33ページの(VIII)WEB出願の流れ及び(IX)出願書類の整理をよく読み、手続きを行ってください。

(2) 出願期間

平成29年9月14日(木)から平成29年9月21日(木) 17時(必着)

(注) これ以降に到着したものは、平成29年9月20日(水)の消印のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 特例事項

やむを得ず持参する場合は、平成29年9月21日(木)に限り認めます。

同日の9時00分から17時00分までに、28ページの学部等別入試担当にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

4 受験票のダウンロード

(1) 岡山大学受験票は、受付完了後、本人あてにメールで連絡しますので、ダウンロードして印刷してください。なお、メールが平成29年10月4日(水)までに到着しない場合は、学務部入試課にお問い合わせください。詳細については33~34ページを参照してください。

連絡先：【電話 (086)251-7192~7194】

(2) 岡山大学受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要となるので、大切に保管しておいてください。

5 入学者選抜方法等

ディスカバリー入試(一般型)

入学者選抜は、第1次選抜及び第2次選抜に分けて行います。

(1) 第1次選抜

- 自己推薦書・調査書により書類審査を行います。
- 志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍）を超えた場合には、第1次選抜（書類審査）を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行います。
- 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度とします。

注) 第1次選抜実施に際しては、予告倍率を変更（緩和）する場合があります。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、次の第2次選抜試験を行います。

試験日	教科等	時間	試験場
平成29年10月28日（土）	① 講義とレポートA ② " B ③ ポスター発表及びグループ討論	10時00分～12時00分 13時00分～16時00分 16時20分～18時00分	一般教育棟
平成29年10月29日（日）	① 記述問題 ② 個人面接（1人30分程度）	10時00分～12時00分 13時00分～	一般教育棟

(注) 第2次選抜実施の詳細については、受験票のダウンロード通知メール又は第1次選抜合格通知書を送付する際にお知らせします。

第1日目

① 講義とレポートA

講義を受講し、与えられた問題に対してレポートを作成します。

主として次の点が評価されます。

- ・英語での講義の内容を正確に理解できる英語力及び基礎学力を持っているか。
- ・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

(講義のテーマ例は、グローバル・ディスカバリー・プログラムホームページ (<http://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/>) に掲載されます。)

② 講義とレポートB

講義を受講し、与えられた問題に対してレポートを作成します。

また、この後に行われる発表（ポスター発表及びグループ討論）のための資料の作成もこの時間内に行います。

主として次の点が評価されます。

- ・日本語での講義の内容を正確に理解できる基礎学力を持っているか。
- ・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

(講義のテーマ例は、グローバル・ディスカバリー・プログラムホームページ (<http://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/>) に掲載されます。)

③ ポスター発表及びグループ討論

グループ（1グループは約8人）に分かれ、発表及び討論を行います。講義とレポートBの際に出された問題に関して理解したこと、考えたことや問題に関連して自ら設定した発展的テーマなどを、ポスターを使って発表（6分）します。全員の発表に続きグループ討論を行います（60分）。主として次の点が評価されます。

- ・問題を的確に理解した上で、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力を持っているか。
- ・その考えや意見を相手にわかりやすく伝えるコミュニケーション力を持っているか。
- ・相手の考えや意見を理解し、適切な質疑やコメントにより討論を有意義なものにできるコミュ

コミュニケーション力を持っているか。
 ・ 討論を通じて、自分の考えを深めることができるか。
 (ポスター発表の形式及びグループ討論の要領はグローバル・ディスカバリー・プログラムホームページ (<http://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/>) に掲載されます。)

第2日目

① 記述問題

6科目(数学, 物理, 化学, 生物, 地学, 公民)から1科目を選択して解答します。
 主として次の点が評価されます。

- ・ 知識と論理的な思考に基づき、問題の意図を的確に理解することができるか。
- ・ 問題に対して知識を活用して的確な答えを推論することができるか。

(問題例はグローバル・ディスカバリー・プログラムホームページ (<http://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/>) に掲載されます。)

② 個人面接

各受験生に対して30分程度の面接を行います。英語での質疑も含みます。
 主として次の点が評価されます。

- ・ 旺盛な好奇心, 探究心, 目的意識や実践力を持っているか。
- ・ 多様な価値観を尊重する本プログラムでの勉学に対する意欲と適性があるか。
- ・ 質問の意図を的確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

ディスカバリー入試 (実績評価型)

入学者選抜は、第1次選抜及び第2次選抜に分けて行います。

(1) 第1次選抜

○自己推薦書・調査書・実績証明書により書類審査を行います。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、次の第2次選抜試験を行います。

試験日	教科等	時間	試験場
平成29年10月29日(日)	個人面接(1人30分程度)	10時00分～	一般教育棟

(注) 第2次選抜実施の詳細については、第1次選抜合格通知書を送付する際にお知らせします。

個人面接

各受験生に対して30分程度の面接を行います。英語での質疑も含みます。
 主として次の点が評価されます。

- ・ 明確な目的意識を持ち、本プログラムにおける勉学に対する意欲を十分に備えているか。
- ・ 活動実績の内容やそれを踏まえた自分の考えや意見を他人に的確に伝えられるような表現力を身につけているか。
- ・ 英語力を含む、十分なコミュニケーション力を持っているか。
- ・ 多様な文化や価値観に開かれた、旺盛な好奇心, 探究心, 目的意識や実践力を持っているか。

6 合格判定の基準

ディスカバリー入試 (一般型)

(1) 第1次選抜では、提出された出願書類を総合的に判定します。

(2) 第2次選抜では、提出された出願書類、講義とレポートA・B、ポスター発表及びグループ討論、記述問題、個人面接の結果を総合して判定します。ただし、講義とレポートAの得点が、合格基準点（150点）に満たなかった者は不合格とします。なお、英語外部検定試験の成績を提出している場合は、書類審査、講義とレポートA及び個人面接の評価の際に加算対象として用います。

(3) 配点基準

27～28ページを参照してください。

ディスカバリー入試（実績評価型）

(1) 第1次選抜では、提出された出願書類を総合的に判定します。

(2) 第2次選抜では、提出された出願書類、個人面接の結果を総合して判定します。

(3) 配点基準

27～28ページを参照してください。

7 合格者発表等

ディスカバリー入試（一般型）

(1) 第1次選抜の実施の有無

- ① 平成29年10月4日（水）までに、受験票のダウンロード通知メールと同時に、入学志願者全員に「第1次選抜実施の有無の通知」のダウンロード通知メールを送付します。また、本学ホームページ（<http://www.okayama-u.ac.jp>）に第1次選抜の実施の有無を掲載します。
- ② ホームページへの掲載期間は、平成29年10月4日（水）から平成29年10月10日（火）までとします。
- ③ 第1次選抜を実施しない場合は、「第2次選抜（最終選抜）に関する連絡事項等」を併せて送付します。

(2) 第1次選抜を実施した場合の合格者発表

平成29年10月13日（金）13時00分の予定

- ① 同日付け郵便で、合格者には「合格通知書」及び「第2次選抜（最終選抜）に関する連絡事項等」を、不合格者には「不合格通知書」を本人あてに発送します。
- ② 本学ホームページ（<http://www.okayama-u.ac.jp>）に第1次選抜合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年10月13日（金）から平成29年10月19日（木）までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。
- ⑤ 第1次選抜の不合格者には、本人の申し出により、検定料の一部（13,000円）を返還します。返還手続の方法等は、第1次選抜の結果とともに通知します。

(3) 最終合格者発表

平成29年11月15日（水）13時00分の予定

- ① 一般教育棟A棟北掲示板（49ページ参照）に合格者の受験番号を発表し、同日付けで、合格者には合格通知書を本人あてに発送します。（入学手続等については、12月中旬頃に別途通知します。）

- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) にも合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年11月15日(水)から平成29年11月21日(火)までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(4) アドミッション・オフィス入試(AO入試) 志願者の一般入試における取扱い
26ページを参照してください。

ディスカバリー入試(実績評価型)

(1) 第1次選抜合格者発表

平成29年10月13日(金) 13時00分の予定

- ① 同日付け郵便で、合格者には「合格通知書」及び「第2次選抜(最終選抜)に関する連絡事項等」を本人あてに送付します。不合格者には「不合格通知書」を本人あてに発送します。

また、ディスカバリー入試(実績評価型) 出願者は、自動的にディスカバリー入試(一般型)との併願になり、ディスカバリー入試(実績評価型) 第1次選抜で合格判定基準に達しない場合は、ディスカバリー入試(一般型) 出願者として第1次選抜から審査します。そのため、ディスカバリー入試(一般型) で第1次選抜を実施した場合の合格者には「【ディスカバリー入試(一般型)】の合格通知書」及び「【ディスカバリー入試(一般型)】の第2次選抜(最終選抜)に関する連絡事項等」を本人あてに送付します。不合格者には、「不合格通知書」を本人あてに送付します。ディスカバリー入試(一般型) で第1次選抜を実施しなかった場合は、「【ディスカバリー入試(一般型)】の第2次選抜(最終選抜)に関する連絡事項等」を本人あてに送付します。

- ② 本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) に第1次選抜合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年10月13日(金)から平成29年10月19日(木)までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(2) 最終合格者発表

平成29年11月15日(水) 13時00分の予定

- ① 一般教育棟A棟北掲示板(49ページ参照)に合格者の受験番号を発表し、同日付けで、合格者には合格通知書を本人あてに発送します。(入学手続等については、12月中旬頃に別途通知します。)
- ② 掲示による合格者発表後、本学ホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp>) にも合格者の受験番号を掲載します。なお、合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。
- ③ ホームページへの掲載期間は、平成29年11月15日(水)から平成29年11月21日(火)までとします。
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(3) アドミッション・オフィス入試(AO入試) 志願者の一般入試における取扱い
26ページを参照してください。

4 共 通 事 項

(I) 出願方法

入学志願者は、(Ⅲ)に掲げる「出願書類」のみを、次の各事項に留意し、インターネット出願後にダウンロードできる出願書類提出用封筒宛名を貼り付けた出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））に一括して入れ、**出願期間内に必着するよう「書留・速達」として28ページの志望学部等の入試担当へ郵送してください。（※郵送先は入試課ではありません。）**

- 1 出願書類提出用封筒の表面に、住所、学部等名・担当名を記入してください。
- 2 在外教育施設（日本国外）から直接出願する場合は、出願に先立ち、出願書類の送付方法及び入学検定料の振込方法について、学務部入試課【メールアドレス dce7193@adm.okayama-u.ac.jp】まで**必ず事前にメールで照会し、確認を行ってください。**

(II) 出願上の注意

- (1) 出願後の志望学部及び学科等の変更は認められません。
- (2) 出願書類（大学入試センター試験成績請求票等）受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- (3) 出願書類に次のような不備があるものは受理しません。
 - ① 志願票等に不備があるもの
 - ② 入学検定料に不足のあるもの
 - ③ 必要な証明書等が添付されていないもの
- (4) 平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で受験を要する教科・科目等に関する注意事項
 - ① 本学の受験票ダウンロード通知メールの送信後に、志望する学部・学科等が指定した受験を要する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、合格者選考の対象となりません。
なお、この場合であっても、出願書類及び既納の入学検定料は返還しません。
 - ② 「地理歴史」・「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」の2科目受験者について、学部・学科等が指定した受験を要する科目が1科目の場合には、第1解答科目の成績を用います。第1解答科目の科目選択方法については、学部・学科等で指定している場合があります。
 - ③ 外国語のうち、「英語」については、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。（重度難聴者などでリスニングを免除された方を除きます。）
 - ④ 本学の平成30年度入学者選抜においては、大学入試センター試験の過年度成績利用は行いません。
- (5) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、アドミッション・オフィス入試（AO入試）の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (6) 障がい等のある方の出願
障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、**出願に先立ち、次により相談してください。**

相談期限	受験しようとする学部等の出願受付開始日の前日まで
相談方法	ホームページ掲載の「出願に伴う事前相談書」に医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添付して相談してください。 http://www.okayama-u.ac.jp/user/st/nyushika/file/jizen_soudansho.html
書類提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 岡山大学学務部入試課 電話 086-251-7192～7194

ただし、体幹及び両上下肢の機能障がい著しい方で、代筆による解答を希望される方は、できるだけ早い時期に相談してください。（大学入試センター試験において代筆による解答を申請する方は、必ず早く相談してください。）

なお、事前相談書には、志望するすべての学部・学科等を記入するとともに、迅速な相談結果の通知、特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間等を考慮し、少しでも早く相談してください。また、「事前相談書」提出後、志望学部・学科等を変更する場合には、直ちに申し出てください。

(Ⅲ) 出願書類

出願に必要な書類等	摘 要
<p>志 願 票 写 真 票 入学検定料支払証明書 (インターネット出願ページで志願者登録を行い、ダウンロードしたものをカラー印刷する)</p>	<p>本学の「インターネット出願ページ (http://e-apply.jp/e/okayama-u/)」より出願し、志願者登録を行ってください。志願者登録終了後、入学検定料決済を行ってください。</p> <p>写真は、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。</p> <p>入学検定料 17,000 円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください(入学検定料の支払確認後、志願票の「入学検定料支払証明書」欄に「決済済」と表示されます。それぞれの支払方法に関する詳細は「インターネット出願ページ」をご確認ください)。その後、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A O 入試志願票 ・ 写真票 ・ 入学検定料支払証明書 ・ 出願書類提出用封筒宛名 <p>をダウンロードし、カラー印刷してください。</p> <p>出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。</p> <p>入学検定料の返還について</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 (()内は返還額)</p> <p>ア 入学検定料を支払ったが岡山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合 (17,000 円)</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 (17,000 円)</p> <p>ウ 第1次選抜により不合格となった場合(教育学部及びディスカバリー入試(一般型)出願者のみ) (13,000 円)</p> <p>※ 詳細については、本学のホームページ (http://www.okayama-u.ac.jp) から「入試」→「入学検定料の返還手続き」をご確認ください。</p>

出願に必要な書類等	摘 要
<p>大学入試センター試験 成績請求票 貼付票</p> <p>(出願時に提出する必要はありません。)</p>	<p>AO入試(大学入試センター試験を課すもの)の入学志願者は、大学入試センターから交付された『平成30年度大学入試センター試験成績請求票』(国公立AO入試用)を、志望する学部の案内(案内の時期は以下のとおり)に従い、所定欄にのりで貼り付けて、その他の出願書類とは別に、後日提出してください。 (物理チャレンジ、ディスカバリー入試の入学志願者は、この貼付票は提出不要です。)</p> <p>*提出時期については、学部別に次の時期に案内します。</p> <p>① 教育学部：受験票ダウンロード通知又は第1次選抜合格通知書送付時 ② 薬学部：小論文・面接試験受験時 ③ 法学部：第1次選抜合格通知書送付時</p> <p>なお、第1次選抜等で不合格になっていないにもかかわらず、自己都合により『成績請求票』を提出しない場合は、以降の試験を受験しない旨の文書(様式任意)を提出してください。</p>
<p>自己推薦書</p>	<p>ホームページ掲載の様式に、入学志願者本人が自筆(黒のボールペン)で記入してください。ただし、グローバル・ディスカバリー・プログラムを志望する方は、パソコン等を使用して記入してもかまいません。</p> <p>【URL】http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/bosyuyoko.html</p>
<p>調査書</p>	<p>① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>② 高等専門学校第3学年修了者等(見込みを含む。)の調査書については、次のとおりとします。</p> <p>ア 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成した書類をもって調査書に代えることができます。</p> <p>イ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はバカロレア資格取得者については、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>ウ ディスカバリー入試(一般型)またはディスカバリー入試(実績評価型)の出願資格(1)の⑥により認定された者は、入学審査後に本学が発行する入学資格認定書(写)を提出してください。</p> <p>注) 出身高等学校等において、指導要録が保存年限を超えるなどの理由により、調査書(成績証明書を含む。)が発行できない場合には、出身高等学校長等が作成した「調査書(成績証明書を含む。)を発行できない旨の証明書」及び「卒業証明書」の提出をもって、これに代えることができます。</p>
<p>「物理チャレンジ」において、第2チャレンジに出場したことを証明する書類</p>	<p>物理チャレンジ志願者は、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」において、第2チャレンジに出場したことを証明する書類(第2チャレンジ参加案内書又はその写し等)を提出してください。</p>

出願に必要な書類等	摘 要
実績を証明する書類 (グローバル・ディスカバリー・プログラム ディスカバリー入試 (実績評価型) 志願者 のみ)	ディスカバリー入試(実績評価型) 志願者は、以下の実績を証明する書類を提出してください。 ① 人文社会や自然科学に関する研究や英語運用能力を競う全国大会等での実績 ② 海外でのフィールドワークや研修など、選考を経て参加した海外での活動体験 ③ 世界各国の高校生が集まって開かれた国際会議・国際大会への参加 ④ 海外の中等教育学校での6ヶ月以上の修学経験 ⑤ その他、上記に準ずる実績等
英語能力に関する 成績証明 (グローバル・ディスカバリー・プログラム志願者のうち、受験している方のみ)	*グローバル・ディスカバリー・プログラム志願者(ディスカバリー入試(一般型)及びディスカバリー入試(実績評価型))で平成27年9月14日から平成29年9月13日までの間に次の英語外部検定試験を受験した人は、そのスコア(複数可)のコピーを提出してください。スコアの原本は、入学手続き時に提出してください。 ・Cambridge English, ・実用技能英語検定, ・GTEC CBT, ・GTEC for STUDENTS, ・IELTS, ・TEAP, ・TEAP CBT, ・TOEFL iBT, ・TOEIC Listening & Reading Test / TOEIC Speaking & Writing Tests / TOEIC Speaking Test / TOEIC Writing Test (名称変更前のTOEICテスト / TOEIC Speaking & Writingを含む)
受験許可書	現在大学に在籍している方 は、在籍する大学の学長又は学部長の発行する「受験許可書(様式任意)」を提出してください。 なお、「受験許可書」が発行されない場合は、入学志願者本人がその旨の文書(様式任意)を作成の上、提出してください。

*グローバル・ディスカバリー・プログラム志願者(ディスカバリー入試(一般型)及びディスカバリー入試(実績評価型))は、英語外部検定試験の結果を提出することができます。この成績は、書類審査、講義とレポートA及び個人面接の評価の際に加点対象として用います。

注意事項

- (1) 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあるので注意してください。
- (2) 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- (3) 出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、必ず、その日本語訳を添付してください。
- (4) 出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。
 なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
 また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。
 - ・ 入学者の氏名、生年月日、性別、出願資格、入学生学部・学科等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、入学者のうち、入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報を、それぞれの学力判定処理に利用することがあります。
 - ・ 合格者の氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理システム及び授業料免除システムで利用します。
 - ・ 入学志願者のうち、女子寮入寮志願者のみ、合否結果の個人情報を、女子寮入寮の選考対象者の把握に利用します。

● 出願資格における個別の入学資格審査

ディスカバリー入試（一般型）の出願資格（1）の⑥またはディスカバリー入試（実績評価型）の出願資格（1）の⑥における入学志願者は、出願前に本学において入学資格認定のための入学資格審査を行います。なお、審査の申請等は次のとおりですが、申請には、**事前に学務部入試課【電話（086）251-7192～7194】**まで連絡してください。

平成30年度岡山大学入学資格審査実施要項

1 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者
- ② 各種の学校などでの学習歴及び社会での実務経験等が、高等学校卒業又は卒業見込みと同等以上であることを確認できる者

2 申請期間及び申請書類の送付先等

平成30年度岡山大学入学者選抜において、本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする方は、平成29年8月31日（木）までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学入学資格認定申請書在中」と朱書してください。なお、提出された書類は、一切返却しません。

申請先

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学務部入試課 【電話（086）251-7192～7194】

3 申請手続

次の書類を取り揃え申請してください。

- (1) 本実施要項1の①に該当する方
 - ① 入学資格認定申請書
 - ② 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - ③ 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - ④ 卒業証明書又は卒業見込証明書
 - ⑤ 返信用封筒〔長型3号封筒（縦23.5cm×横12cm）に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、792円分（書留速達料金）の切手を貼り付けてください。〕
- (2) 本実施要項1の②に該当する方
 - ① 入学資格認定申請書
 - ② 大学入学資格があると考えた理由書
 - ③ 各種の学校などでの学習歴及び社会での実務経験等が高等学校卒業又は卒業見込みと同等以上であることを確認できる書類
 - ④ 返信用封筒〔長型3号封筒（縦23.5cm×横12cm）に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、792円分（書留速達料金）の切手を貼り付けてください。〕

4 入学資格審査の方法及び審査期間

入学資格審査は、申請書類により審査します。

審査は、申請書類受取後、随時行います。なお、申請期限内に申請した場合、平成29年9月4日（月）までに行います。

5 入学資格審査基準

- (1) 本実施要項3の（1）の申請者
申請者の当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- (2) 本実施要項3の（2）の申請者
申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業又は卒業見込みと同等以上の学力があるかを審査します。

6 入学資格審査機関

岡山大学入学資格審査委員会

7 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、申請者あてに郵送により通知します。

入学資格を認められた方には、「岡山大学入学資格認定書」を交付します。

8 岡山大学入学者選抜試験の受験について

「岡山大学入学資格認定書」の交付を受けた方は、本学の入学者選抜試験に出願し選抜試験を受験することができます。出願の際は、必ず「岡山大学入学資格認定書（写）」を添付してください。

(Ⅳ) アドミッション・オフィス入試（AO入試）志願者の一般入試における取扱い

アドミッション・オフィス入試（AO入試）の入学志願者で、本学及び他の国公立大学の一般入試の受験を希望する方は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部に出願することができます。

なお、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願は特に妨げません。

ただし、アドミッション・オフィス入試（AO入試）合格者は、本学の定める手続きにより入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試の合格者とはなりません。

また、一般入試に出願する場合は、改めて入学検定料が必要となります。

出願に当たっては、各大学・学部等により、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合がありますので、特に注意してください。

本学に出願する場合は、別途「平成30年度一般入試学生募集要項」をホームページに掲載 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/bosyuyoko.html>) (12月初旬公表予定) しますので、それにより、所定の出願書類等を、平成30年1月22日（月）から平成30年1月31日（水）の期間に提出してください。

(V) 配点基準

(1) AO入試（大学入試センター試験を課すもの）

区 分			書類審査		小論文	面接	大学入試センター試験					合計
			自己推薦書	調査書			国語	数学	理科	地理歴史	公民	
教育学部	小学校教育コース	第1次選抜	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200
		最終選抜	200	—	600	200	200	(100又は200)	(100又は200)	200	1,700	
	中コ 学校 教育ス	国語, 社会, 数学, 理科, 技術, 家庭, 英語	第1次選抜	200	—	—	—	—	—	—	—	200
		最終選抜	200	—	600	200	200	(100又は200)	(100又は200)	200	1,700	
	音楽, 美術, 保健体育	第1次選抜	300	—	—	—	—	—	—	—	—	300
		最終選抜	300	—	800	200	100	(100又は200)	(100又は200)	200	1,900	
	特別支援教育 コース	第1次選抜	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200
		最終選抜	200	—	600	200	200	(100又は200)	(100又は200)	200	1,700	
	幼児教育コース	第1次選抜	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200
		最終選抜	200	—	600	200	200	(100又は200)	(100又は200)	200	1,700	
	養護教諭養成課程	第1次選抜	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200
		最終選抜	200	—	600	200	200	(100又は200)	(100又は200)	200	1,700	
法学部	法学科 (昼間コース)	第1次選抜	100	—	200	—	—	—	—	—	—	300
		最終選抜		—		—	—	—	—	200	500	
薬学部	薬学科 創薬科学科		*	200	200	100	200	200	100	200	1,200	

(2) 物理チャレンジ

区 分		書類審査			合計
		自己推薦書	調査書	その他	
理学部	物理学科			200	200

(3) ディスカバリー入試

ディスカバリー入試（一般型）

区 分	書類審査		講義とレポートA	講義とレポートB	ポスター発表及び 討論	記述問題	個人面接	合計
	自己推薦書	調査書						
第1次選抜	100	—	—	—	—	—	—	100
第2次選抜	*	300	200	200	300	200	200	1,200

ディスカバリー入試（実績評価型）

区 分	書類審査			個人面接	合計
	自己推薦書	調査書	実績証明書		
第1次選抜	300			—	300
第2次選抜	300			700	1,000

注 1 *は、面接評価に含まれます。

2 「大学入試センター試験欄」の（ ）を付している教科は、選択教科等を表し、「(100 又は 200)」は、当該教科で成績を用いる科目が1科目の場合 100、2科目の場合 200 を表します。ただし、「理科」については、成績を用いる科目が基礎を付していない科目 1科目又は基礎を付した科目 2科目の場合 100、基礎を付していない科目 2科目又は基礎を付していない科目 1科目及び基礎を付した科目 2科目の場合 200 を表します。

なお、「英語」の配点は、「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の得点の合計を200点満点に換算したものを岡山大学の配点に換算します。(重度難聴者などで「リスニング」を免除された方は「筆記」(200点満点)のみを利用します。)

3 同一教科で複数科目を課している場合の各科目の配点は、等分とします。

(VI) 学部等別入試担当

学部等	担当	住所	電話	備考
教育学部	教育学系事務部教務学生係	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7605	問い合わせ時間 9時00分～ 17時00分
法学部	法学部担当 (社会文化科学研究科等学部教務学生グループ)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7363 7364	
理学部	理学部事務室教務学生担当 (自然系研究科等事務部)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7778	
薬学部	薬学部教務学生担当 (医歯薬学総合研究科等薬学系事務室)	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1	(086) 251-7923	
グローバル ディスカバリー プログラム	グローバル・ディスカバリー・プログラム 事務室	〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1	(086) 251-7915	

(VII) 入学手続

合格した学部・学科等により、入学手続期限・方法及び入学手続に必要なものが異なりますので、合格者は、次の各事項に十分注意して、入学手続を完了してください。

1 入学手続期限・方法

(1) 理学部物理学科(物理チャレンジ)、グローバル・ディスカバリー・プログラム(ディスカバリー入試)

①入学手続期限

平成30年1月5日(金) 17時00分までに必着(郵送)

②入学手続方法

入学手続に関する詳細は、合格者に別途お知らせします。

(2) 教育学部、法学部、薬学部

①入学手続期限

平成30年2月14日(水) 17時00分までに必着(郵送)

②入学手続方法

入学手続に関する詳細は、合格者に別途お知らせします。

2 入学手続きに必要なもの

- (1) 岡山大学受験票
- (2) ① 大学入試センター試験受験票
教育学部, 法学部, 薬学部の合格者
- ② 大学入試センター試験受験票の写し (受験番号等が鮮明に確認できるもの)
理学部物理学科 (物理チャレンジ), グローバル・ディスカバリー・プログラムの合格者のうち
大学入試センター試験に出願している者
- (3) 入学料 282,000円 (予定額)
(注) 1 入学時に入学料改定が行われた場合には, 改定時から新入学料が適用されます。
2 入学料は, 入学案内はさみ込みの「入学料振込用紙」により, 金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局
を含みます。) 窓口からの振込(ATMは利用しないでください。)による納入となります (振込
手数料が別に必要)。
- (4) 上記以外の本学所定のもの

3 留意事項

- (1) 入学料の振込のみでは, 入学手続きを行ったことにはなりません。
- (2) 入学料の免除及び徴収猶予を希望する方は, 44~45ページの「学生生活等」を参照してください。
- (3) アドミッション・オフィス入試 (AO入試) に合格したが, 入学手続きをしない方, あるいは入学手続きを完了した方が特別な事情により入学を辞退する場合は, 平成30年2月14日 (水) 17時00分までに, 「アドミッション・オフィス入試 (AO入試) 入学辞退願」 (様式は任意。選抜の種別, 受験番号, 合格学部等・学科 (課程)・専攻 (コース) 名, 日付及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で, 本人が署名・押印したもの) を岡山大学長あて提出し, 許可された場合に限り, 入学辞退を認めます。
- (4) アドミッション・オフィス入試 (AO入試) 合格者は, 入学の辞退を許可された場合を除き, 本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

「アドミッション・オフィス入試 (AO入試) 入学辞退願」送付先
〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 岡山大学学務部入試課

(Ⅷ) WEB出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

STEP 2 Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <http://e-apply.jp/e/okayama-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験方式、学科等

② 写真

③ テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。

④ 個人情報(氏名・住所等)

⑤ 申込登録完了
受付番号(12桁)メモ
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

⑥ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

⑦ 志願票PDF(イメージ)

「出願内容の確認/Web志願書の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え**たうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。
受付完了後、募集要項記載の日時に受験票ダウンロード通知がメールで送信されます。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※ 「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート



Kステーション



クラブステーション



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

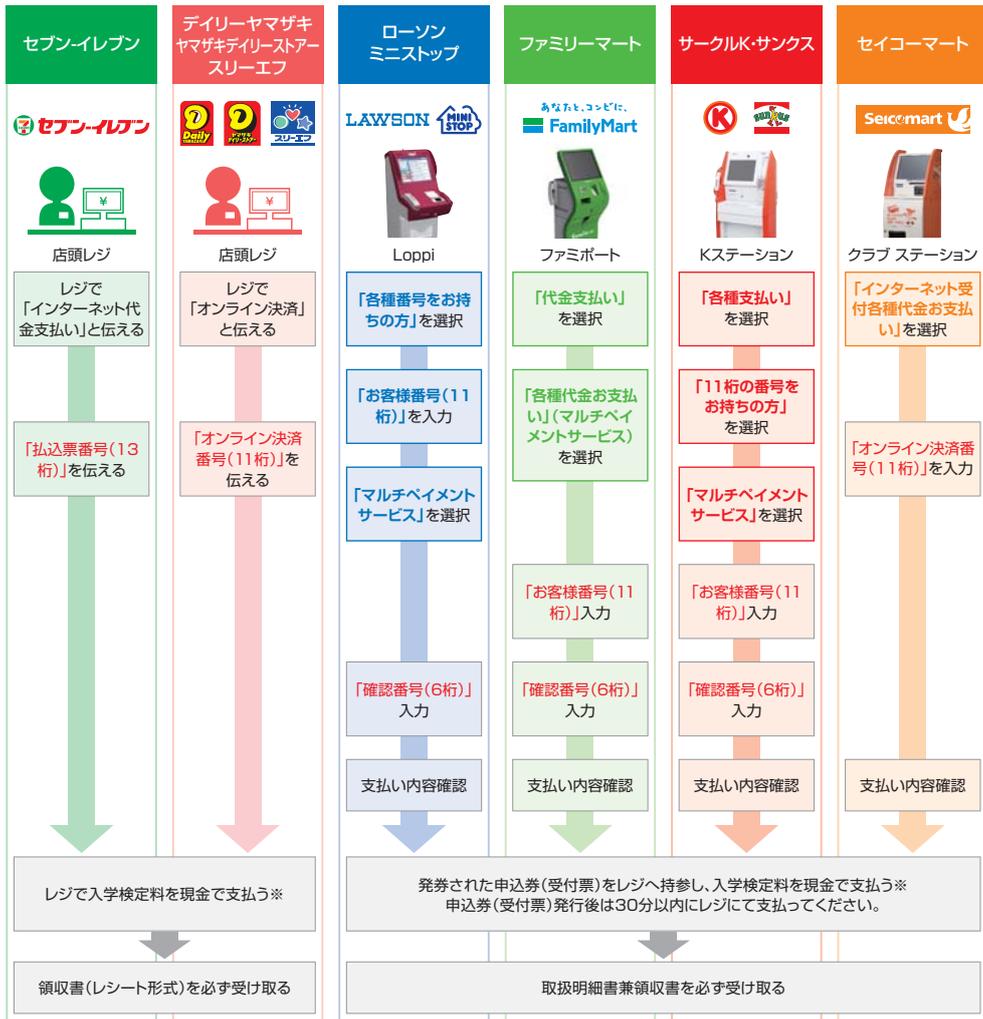
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5



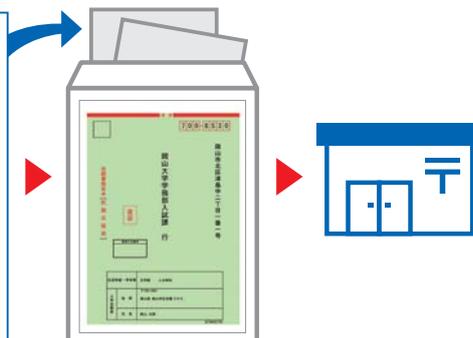
必要書類の郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。

必要書類は22～24, 33ページを参照して準備してください。



出願書類の郵送先は各募集要項を参照してください。



出願書類提出用封筒宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
封筒に貼り付けて作成

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各募集要項を参照してください。

※いったん受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

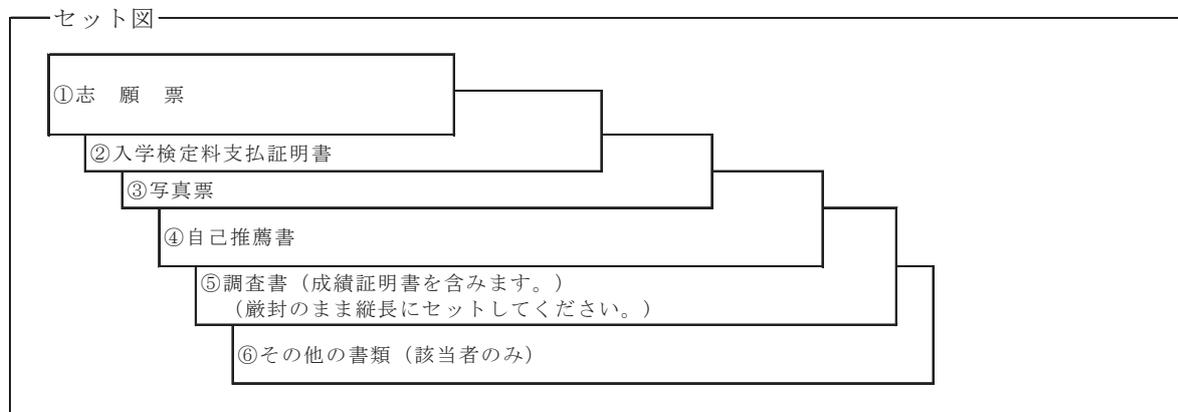
出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。出願登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

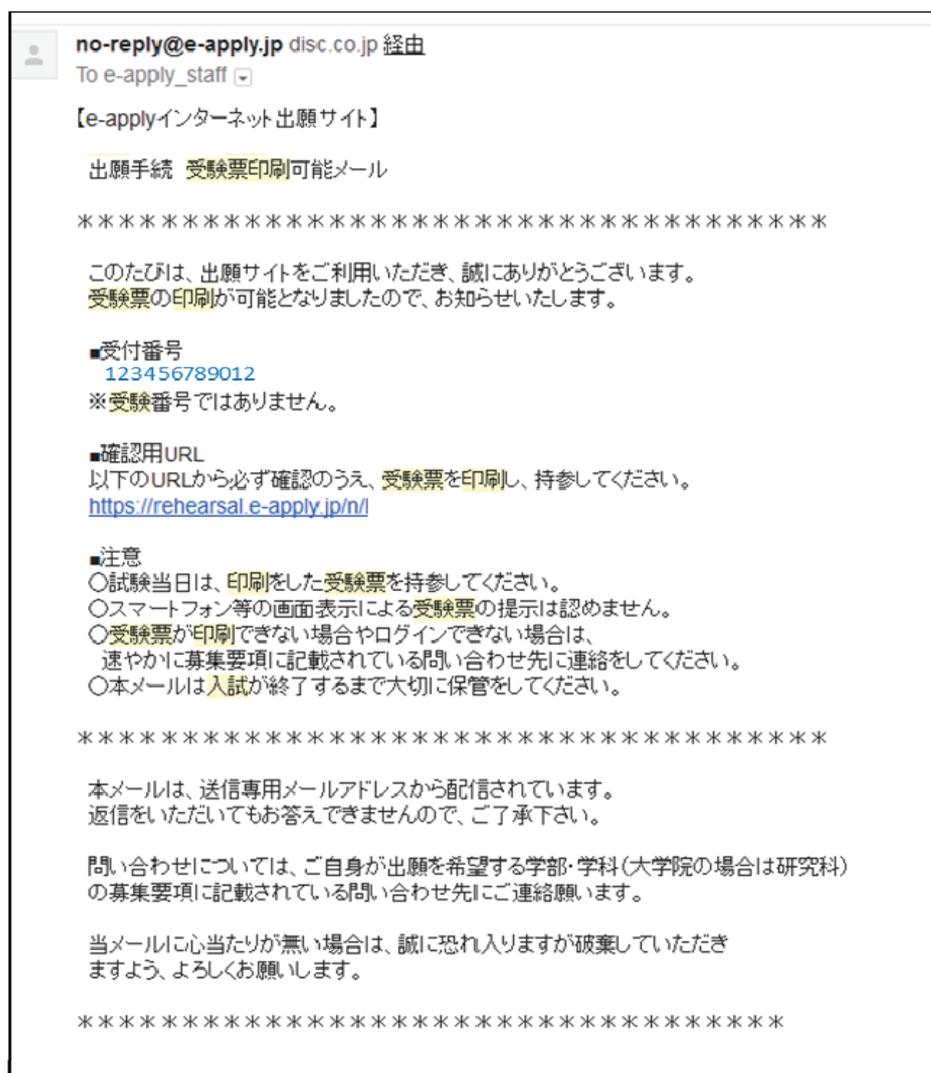
(IX) 出願書類の整理

出願書類は、①「志願票」、②「入学検定料支払証明書」、③「写真票」、④「自己推薦書」、⑤「調査書（厳封のもの）」、⑥「その他の書類（「物理チャレンジ」において、第2チャレンジに出場したことを証明する書類、「ディスカバリー入試（実績評価型）」において、実績を証明する書類、「ディスカバリー入試」において英語能力に関する成績証明、受験許可書）」、の順にばらばらにならないよう以下のとおりセットして、「出願書類提出用封筒」に入れて提出してください。



(X) 受験票ダウンロードについて

【STEP 1】志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送付します。



【STEP2】受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。登録内容確認ページにログインするには出願登録時の【受付番号（数字12桁）・生年月日・メールアドレス】が必要になります。

利用環境

インターネット出願には次のWebブラウザをご使用ください。

- ・ Microsoft Internet Explorer 8以降
- ・ Google Chrome 43以降
- ・ Mozilla Firefox 38以降
- ・ Apple Safari 8以降

※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。
複数タブでの同時申込操作はお控えください。

※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧などは可能ですが、推奨環境ではありませんので一部の端末画面からは正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能が必要としますので、パソコンからのご利用をお勧めいたします。

学部を選択してください

下記より出願する学部を選択し、手続きを行ってください。

文学部

文学部の出願手続きを行う

文学部の出願内容確認/志願票の確認

ネット出願のメリット

- 書類の取り寄せ不要
- 入カミスがなくなる
- 24時間支払いOK

岡山大学
OYAMADA UNIV.

※ トップページ

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

ログイン

受付番号 (半角数字)

生年月日 1999 / 01 / 01

メールアドレス

ログイン

※サイトの閲覧履歴は第三者に公開されています。
Copyright 2012 OYAMADA UNIV. All rights reserved.

【STEP3】ログイン後、受験生登録画面より受験票（PDF）をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

岡山大学
OYAMADA UNIV.

ログアウト

お支払い内容

受付番号	227484221761		
受付日時	2017年1月25日 0時00分00秒		
検定料	17,000 円		
決済種別	クレジットカード決済	コンビニエンスストア決済	コンビニエンスストアセブンイレブン決済
払込手数料	540円	540円	540円
合計金額	17,540円	17,540円	17,908円

出願申込ステータス 支払済み 以下のボタンを押して表示される出願書類を確認してください。

出願書類(PDF)の表示

受験票PDF

受験票 (PDF) のダウンロード

写真

登録する写真



(XI) 受験生宿泊申込

受験に際して、ホテル・旅館等への宿泊を希望する場合は、『平成30年度岡山大学受験宿泊・サポート案内』(以下URL参照)をご覧ください。

【問い合わせ先】 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1
岡山大学生活協同組合 受験宿泊係
電話 (086)256-4130 (10時00分～17時00分 土・日・祝日は休み)
(<http://vsign.jp/okadai/hotel>)

(XII) 入試情報の開示

平成30年度入試の入試情報開示を希望する方には、ホームページ掲載の『入試情報の開示について』により、平成30年6月1日(金)～6月29日(金)(土・日曜日を除く。)の間に開示します。

【請求先及び問い合わせ先】 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1
岡山大学学務部入試課(大会館1階)
電話 (086)251-7192～7194
【URL】 <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/kaiji01.html>

麻しん(はしか)・インフルエンザに注意

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、発熱、咳、鼻水といった風邪症状の後に発しんと高熱が現れ、脳炎などを併発して重症化することもあります。最近では、10代、20代以上での感染が多く見られ、大学を含めて学校閉鎖が相次ぐなど社会的にも問題となり、平成20年4月から5年間、中学1年時、高校3年時年齢で、全員が麻疹風疹ワクチン接種(無料)を受けることになっています。これ以外の方も医療機関で抗体(抵抗力)検査をして、必要ならワクチン接種を受けてください。

麻しんやインフルエンザは感染力が非常に強く、予防手段はワクチン接種です。岡山大学を受験するに当たっては、日頃のうがいや手洗いの励行などの体調管理とともに、これらウイルス感染症対策に留意してください。

詐欺まがいの行為に注意

例年、岡山大学試験場及び岡山駅周辺において本学職員を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

試験当日、本学職員が以上の詐欺まがいの行為をすることは一切ありませんので注意してください。なお、不審者を見たり、声をかけられたりしたら、本学職員(『岡山大学』の腕章着用)まで連絡してください。

5 アドミッションポリシー等

(URL <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/undergraduate.html>)

〔岡山大学ディプロマポリシー（学位授与の方針）〕

岡山大学のディプロマポリシーは、学生が本学を卒業するにあたって、以下の学士力を基本的に習得し、知の継承者となることを保証するための目標である。

人間性に富む豊かな教養【教養】

自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、先人の足跡に学び、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。

目的につながる専門性【専門性】

専門的学識と時代を担う技術を身につけていると共に、それらと自然・社会とのつながりを意識し、社会に貢献できる。

効果的に活用できる情報力【情報力】

必要に応じて自ら情報を収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

グローバル化に対応した国際感覚や言語力と共に、社会生活に求められるコミュニケーション能力を有し、地球規模から地域社会に至る共生のために、的確に行動できる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて、自立した個人として日々を享受する姿勢を一層高め、生涯に亘って自己の成長を追求できる。

〔岡山大学カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）〕

岡山大学は、本学のディプロマポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯に亘る自己実現力）を備え、グローバル化社会に対応できる人材を育成するため、教養教育科目および専門教育科目を提供しています。教養教育科目は、全学部の学生が共通に受ける授業と位置付け、学生自身の専門に偏ることのないよう、幅広い学問領域の科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。また、専門教育科目は、学生が属する学部・学科等に特有の授業内容で構成され、各学部・学科等の教育目的に則した科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。これら教養教育科目ならびに専門教育科目を体系化したカリキュラムを編成し、学生に提供します。

〔岡山大学アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）〕

教育内容・特色

岡山大学は社会に開かれた大学として、質の高い教育と先導的な研究を実践し、「高度な知の創生と的確な知の継承」を実現するための中核的な役割を担っています。

教養教育科目および専門教育科目を体系化したカリキュラムの形で学生に提供することにより、本学のディプロマポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯にわたる自己実現力）を備え、グローバル化に対応できる人材を養成しています。

求める人材

岡山大学は、本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、本学のディプロマポリシーに掲げる学士力を身に付けたいという強い意欲をもつ人、グローバル化社会での活躍を目指す人を、多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

選抜の基本方針

各学部学科のアドミッションポリシーを参照ください。

〔各学部のアドミッションポリシー等（AO入試で求める学生像）〕

〔教育学部〕

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、反省的・創造的な教員の育成を目的として、教育実習や体験的授業科目を軸（コア）にした独自の「教員養成コア・カリキュラム」を開発しています。このカリキュラムでは、学生が大学の授業で教育の理論を学び、それを教育現場で実践することで、学びを積み上げていきます。大学と教育現場でのこの循環的な学びを通して、教師に必要とされる4つの力（「学習指導力」、「生徒指導力」、「コーディネート力（地域や家庭と連携する力）」、および「マネジメント力（学校・学級経営力）」）で構成される教育実践力をバランス良く向上させていくことができます。

教育学部の教育内容の特色としては、学校教育の目的や教師の使命と教科の指導や教科内容構成等に関する知識を系統的に獲得するための大学での授業に加えて、それらを実践の場で応用する機会を豊富に設けていること、が挙げられます。具体的には、附属学校園での観察・参加実習、教育実習、公立学校園での「教職実践インターンシップ」など、教育現場での体験・実習活動を4年間、継続的・系統的に取り入れています。また、学校現場や社会教育施設等でボランティア活動を行う「フィールド・チャレンジ科目」を1年次から開講しています。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、教員として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

各課程・コース・教科のアドミッションポリシーを参照ください。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、教育に関する理論と実践を教授・研究することを通して、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

学校教育教員養成課程小学校教育コースでは、義務教育9年間の子どもの成長を見通して、子どもの発達に寄り添う学習指導のスキルと教科内容等に関する確かな知識を獲得し、それらを多様な教育の現場で応用する機会をカリキュラムの中に設けています。この理論と実践の循環的な学びを通して、自ら成長し続ける反省的実践家である教師としての自覚を育みます。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人
6. 小学校教育への関心と理解があり、いろいろなことに積極的に取り組める人
7. 得意な分野を生かして学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、小学校教諭として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

大学入試センター試験については、5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接（口述試験を含む。）及び書類審査（自己推薦書、調査書）については、小学校教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、教育に関する理論と実践を教授・研究することを通して、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

学校教育教員養成課程中学校教育コースでは、小学校6年間の子どもの成長をふまえて、教科の基盤となる学問の体系的な知識と、子どもの心身の成長を考慮した学習指導のためのスキルを獲得し、それらを多様な教育の現場で応用する機会をカリキュラムの中に設けています。この理論と実践の循環的な学びを通して、自ら成長し続ける反省的実践家である教師としての自覚を育みます。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人
6. それぞれの教科の専門分野について関心と理解があり、中学校教育について熱意と意欲を持っている人

[国語] 言語や文学に強い関心を持ち、国語教育に情熱を持って取り組むことができる人

[社会] 地理歴史科・公民科の基礎的な学力を有するとともに、社会に対する広い関心と理解を持ち、子どもと一緒に問題を探究しようとする意欲のある人

[数学] 数学が得意だけでなく、数学を通して物事を考え、その良さや面白さを子どもたちに伝えようという意欲のある人

[理科] 科学への興味が強く、実験・観察や野外活動などによる理科教育に夢や熱意を持っている人

[音楽] 音楽的表現力を基盤とした上で、音楽教育の様々な学習や活動に関心や意欲のある人

[美術] 美術教育への夢を持ち、美術教育に関する理論や方法、専門的技術に関心のある人

[保健体育] 子どもの健康と体育・スポーツ活動に情熱と専門的視野を持ち、それを支援したい人

[技術] 探求心が旺盛で、科学技術の創造と理解に強い意欲を持ち、技術教育に熱意がある人

[家庭] 家庭科の大切さや楽しさを子どもたちに伝えたいという意欲のある人

[英語] 国際理解に関心が強く、英語学習に意欲があり、英語を使ってコミュニケーションをすることが好きで、英語を教えることに熱意と意欲を持っている人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、中学校教諭として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

大学入試センター試験については、5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接(口述試験を含む。)及び書類審査(自己推薦書、調査書)については、中学校教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、教育に関する理論と実践を教授・研究することを通して、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

学校教育教員養成課程特別支援教育コースの特色は、障がいのある子どもにとって本当に大切なこととは何かを考えることができるように、障がいのある子どもの教育、心理、生理および病理に関する専門的な科目やそれらの子どもに対する指導法に関する科目を、各領域を専門とする教員が、他の専門領域と結びつけながら指導していることです。また、卒業研究では、学生が、自分自身の見解を述べ、互いの異なる見解を尊重しつつ、徐々に特別支援教育の本質に迫ることができるように、教員がチームを組んで指導しています。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人
6. 豊かな人間性を備え、特別支援教育に関心と理解があり、障がいがある子どもたちに共感できる人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、特別支援学校教諭として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

大学入試センター試験については、5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接(口述試験を含む。)及び書類審査(自己推薦書、調査書)については、特別支援学校教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、教育に関する理論と実践を教授・研究することを通して、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

学校教育教員養成課程幼児教育コースの教育内容の特色としては、資質の高い保育者養成を目指した、細やかな指導体制と学生の主体性、協同性を育む教育プログラムを挙げることができます。1年次には、教職実務基礎(プレゼミ)、学外合宿研修等を通して、大学生活を送る際の学究的態度の育成や、就職に向けた意識を早期に高めます。附属幼稚園での実習に加え、保育実習では児童福祉の視点からも実践を学び、資質・能力の向上を図ります。これらを通して、地域において主導的な役割を果たす、基幹的保育者を養成します。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人
6. 幼稚園教育や保育所保育等に関心と理解があり、子どもと一緒に活動できる前向きで明るい人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、幼稚園教諭、保育士等として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

大学入試センター試験については、5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接(口述試験を含む。)及び書類審査(自己推薦書、調査書)については、幼稚園教育や保育所保育等の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

教育学部 養護教諭養成課程

教育内容・特色

岡山大学教育学部では、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、教育に関する理論と実践を教授・研究することを通して、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

養護教諭養成課程の教育内容の特色としては、子どもの発育発達と心と身体のしくみ、生活・環境・社会と健康、健康の成立と支援方法などの基礎について1年次から系統的に学び、養護教諭として子どもを理解し支援にあたっていくために必要な基礎理論を基盤に、子どもの心と身体の発達課題や問題への教育的支援、保健室経営、校内外連携などの養護教諭としての教育実践力を卒業時に獲得できるよう講義と実習を展開していることです。

求める人材

1. 基礎的な学力を持ち、学校教育への関心と理解そして熱意がある人
2. 子どもたちと一緒に活動することが好きな人
3. 学ぶことの楽しさを伝えることに意欲のある人
4. 子どもの発育発達と心身の健康について学び、豊かな感性を育みたい人
5. 多様な人々と連携・協働しながら地域社会に貢献していく意欲がある人
6. 養護教諭の仕事への関心・理解と熱意がある人
7. さまざまな学習や活動を体験する中で、自律性・社会性・創造性を培おうとする人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では授業に意欲的に取り組み、その学習内容を習得してください。このようにして身に付けた基礎学力は、養護教諭として子どもの学びと発育発達、心身の健康を支援するための知識を習得する上で必要不可欠なものです。また、様々な活動や社会の問題に興味をもって自分なりに考え、部活動やボランティアなどに積極的に参加することを通して、幅広い経験を積んでください。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

大学入試センター試験については、5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接（口述試験を含む。）及び書類審査（自己推薦書、調査書）については、養護教諭の仕事への関心・理解と熱意等について評価します。

〔法学部〕

教育内容・特色

現実社会で生起する諸問題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に問題を解決できる法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸問題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していかようとする人
3. 世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

選抜の基本方針

法学部での学習にあたっては、世界への関心を持つと同時に、自分の考え方とは異なる考え方を含めて様々な考え方について、思いつきや感覚的な判断に終始するのではなく、理論的に検討しつつ再構成してゆく作業を着実に進めることが求められます。こうした資質があるかどうかは、高校までの学習を着実に積み上げてきた結果としての学力を基本にして判断されます。

法学部 法学科(昼間コース)

教育内容・特色

現実社会で生起する諸問題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に問題を解決できる法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸問題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していかようとする人
3. 世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

外国語の大学入試センター試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。書類審査では、調査書、自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に評価します。また面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力やコミュニケーション能力、理解度、意欲など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

〔理学部〕

教育内容・特色

理学部は、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科の5学科に加え、臨海実験所、界面科学研究施設の2附属施設から構成されています。理学部では、4年一貫の少人数教育を採用しています。1年次では教養科目を学びつつ各学科で基礎的な専門科目を学びます。2・3年次では研究活動に関連する専門科目を学び、4年次で特定のテーマに沿った課題研究(卒業研究)やセミナーなどを通じて専門知識を究めます。これらの教育を通じて、物事や身のさまざまな事象の本質をつかみ、論理的に思考できる能力を養成し、以下のような人材を育成します。

1. 自然科学の幅広い分野の基礎知識を習得し、広い視野と柔軟な研究能力を身につけ、独創的な研究を推進できる人材
2. 習得した専門分野の知識を活用する能力を持ち、自らが新しい分野に積極的に挑戦できる人材
3. 幅広い教養と英語によるコミュニケーション能力を身につけ、グローバル化が進むこれからの世界で活躍し、広く国際社会に貢献できる人材

求める人材

理学部では、基礎的かつ総合的な学力を重視しつつ、以下のような意欲と能力をもった学生を求めています。

1. 自然科学の基礎を学び、その知識や能力を社会で活かしたいと考える人
2. 自然現象を原理や法則から理解したいと考える人
3. 真理探究への情熱をもっている人

入学後の学修のため、以下の科目の内容を習得していることが望まれます。

【数学：数学I・数学II・数学III・数学A・数学B】

【理科：各学科のアドミッションポリシーを参照ください。】

【英語：コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II】

選抜の基本方針

各学科のアドミッションポリシーを参照ください。

理学部 物理学科

教育内容・特色

物理学科では素粒子・宇宙物理学から物質科学まで多岐にわたり、自然界の基本法則を探求する研究が行われています。

1, 2年では、力学・電磁気学・熱力学・量子力学といった基本的な物理学の基礎を勉強します。3年次にはより専門的な相対論・素粒子物理・超伝導・磁性の授業が始まり、4年次には、各研究室に所属し、世界最先端の科学に触れ、卒業研究を行います。

さらに高度な研究は大学院で行われます。研究手段は理論・実験があり、これらの中で各自学生が主体的に興味ある研究分野を見つけ、物理学の研究を行います。これらの講義・演習・研究を通じて、ディプロマポリシーに掲げる能力の発展・向上を目指します。

- ・物理に関する知識を習得し、科学的知識を通じて論理的に考え判断することができる能力
- ・問題発見とその解決、新しい現象や考え方の探求により広く社会に貢献できる能力

求める人材

1. 自然科学の基礎としての物理を学び、研究し、社会で活かしたいと考える人
2. 基本法則から自然現象を理解し、説明したいと考える人
3. 知識を発展させ、実際に使ってみたいと考える人

物理学の研究では、学力・知識だけでなく、自然界の基本原則と法則の探求に対する好奇心と情熱、そして、日々の努力が重要で共に物理学の探求について語り合える熱意ある学生達が集まることを期待します。

入学後の学修のため、物理学科では、以下の科目の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学I, 数学II, 数学III, 数学A, 数学B】

【物理：物理基礎, 物理】

【英語：コミュニケーション英語I, コミュニケーション英語II, コミュニケーション英語III, 英語表現I, 英語表現II】

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(物理チャレンジ)

自然界の深遠な物理法則に対する興味を強く持ち、それを探求するのに必要な学力と情熱・熱意を持つ人を選抜します。全国模コンテスト「物理チャレンジ」において第2チャレンジへの進出を出願資格とします。物理チャレンジの成績により物理学の学を評価し、自己推薦書・評価書による書類審査により、基礎学力と物理学の探求意欲を評価します。

〔薬学部〕

教育内容・特色

薬学とは、以下の各要素からなる、複合的な学問分野です。

- 1) 解析：生命現象、疾病原因の分子基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質の活用法を最適化し、さらには新たな活用の方策を創案する。

岡山大学薬学部では、これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨します。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成します。

このため、薬学部では所属学生に対し、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、薬学科では特にヒトに対する物質の「活用」を担うための専門的知識を身につけた人材（薬剤師）を、創薬科学科では、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成します。

求める人材

薬学とは、化学をはじめ生物学や物理学などの基礎科学からバイオテクノロジーなどの応用科学までも含んだ生命科学であり、人間の生命・生活にとって有益な「薬」を開発、製造、適正使用するための科学技術の基本となる学問領域です。岡山大学薬学部では、入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれか及び化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学部では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 優れた倫理観を有する人
2. 目的意識と情熱を持っている人
3. 豊かな人間性を備え、人とのかかわりを積極的に持とうとする人

選抜の基本方針

各学科のアドミッションポリシーを参照ください。

薬学部 薬学科

教育内容・特色

薬学科では、ヒトの治療を目的として物質を活用する、すなわち薬剤師としての業務遂行するための専門的知識技能を教育します。さらに、これらを基にした解析・創出をも含む新たな知の創出を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれか及び化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 薬剤師にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探究心を持ち続け、高度な知識と最先端の技術を身につけた薬剤師として活躍したいと考えている人
2. 大学院（博士課程）進学後、薬学関連分野の研究者および教育者を目指したいと考えている人

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

調査書ならびに自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に判断します。また小論文及び面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力やコミュニケーション能力、理解度、意欲など、薬学科で学ぶ上での適性を評価します。

さらに、5教科7科目（化学は必須）の大学入試センター試験を課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

薬学部 創薬科学科

教育内容・特色

創薬科学科では、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育します。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれか及び化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに創薬科学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 医療に関わる人にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探求心を持ち続け、創薬関連分野で活躍したい人
2. 大学院（博士前期・後期課程）に進学し、将来の創薬科学を担う教育者や研究者として国の内外で活躍したい人

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)

調査書ならびに自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に判断します。また小論文及び面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力やコミュニケーション能力、理解度、意欲など、創薬科学科で学ぶ上での適性を評価します。さらに、5教科7科目(化学は必須)の大学入試センター試験を課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

〔グローバル・ディスカバリー・プログラム〕

教育内容・特色

グローバル・ディスカバリー・プログラムでは、世界各地から集まった留学生・帰国生、日本国内の高校出身者など、多様な背景と経験を持つ学生たちの協働と学び合いを基礎としつつ、インターンシップやフィールドワークなど実践的な学びを重視します。学部や学科の枠にとらわれず、将来の目標に適した科目履修を通じて専門知識を修得し、取り組むべき課題や進むべき道筋を自ら発見し、文化や専門分野の異なる他者と協力しながら、課題解決に向けて的確に行動できる能力を涵養します。

学生各自が組み立てた履修プログラムを通じて、専門的な知識や技能の修得を促し、卒業研究では、教員の指導の下に自ら設定した課題に取り組むことで、収集した情報を多角的・創造的に分析する力と、社会に向けて的確な情報を効果的に発信する力を培います。これらの教育を通じて、地域レベルから地球レベルまでに至る社会のイノベーションのために自ら行動でき、グローバル社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。

求める人材：

1. 多様な文化や社会に目を向け、世界を舞台に活躍する意志を持つ人
2. 幅広い分野での学修や言語の修得など、主体的な学びに積極的な人
3. 他者と十分なコミュニケーションを図ることができ、互いに協力しながら課題に取り組む姿勢を持つ人

入学後の学修のために、以下の3つのちからを身につけていることが望まれます。

- ・多文化を背景とする学生同士が協働して課題解決に取り組むための英語力
- ・自分の意見をまとめ、他者に明確に伝えるために必要なコミュニケーション力
- ・入学後、選択する分野での学修に必要とされる科目の基礎学力

選抜の基本方針

・アドミッション・オフィス入試(AO入試)：

ディスカバリー入試(一般型)

書類審査(自己推薦書、調査書等)により、英語力および本プログラムでの必要な基礎学力、学修に対する目的意識と意欲を判断します。講義を受講して作成するレポートおよび記述問題の解答により、英語を含めた基礎学力、課題に対する理解力、論理的思考力を判断します。発表および集団討論により、課題に対する理解力、論理的思考力、コミュニケーション力を判断します。面接により、学習に対する意欲、コミュニケーション力を判断します。以上の要素を総合して選抜します。

ディスカバリー入試(実績評価型)

書類審査(自己推薦書、調査書等)および面接により、本プログラムでの学修に対する目的意識と意欲、必要な基礎学力・英語力・コミュニケーション力に加え、活動実績等に基づく課題発見・理解力、リーダーシップや協働する力、論理的思考力、文化の多様性に対する理解力を重視して選抜します。

6 学生生活等

1 入学料及び授業料

区分	金額	備考
入学料	282,000 円 (予定額)	(1) 入学手続き時に納入となります。(28,29ページ参照) (2) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する方は、2「入学料の免除・徴収猶予」を参照してください。
授業料	前半期分〔4月～9月〕 267,900 円 (予定額) 後半期分〔10月～3月〕 267,900 円 (予定額) 年 額 535,800 円 (予定額)	(1) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。 (2) 平成30年度前半期分の授業料の納入時期は、平成30年5月になります。なお、納入方法の詳細は、入学手続き時に入学案内にてお知らせします。 (3) 授業料の免除を希望する方は、45ページの3「授業料の免除」を参照してください。

2 入学料の免除・徴収猶予

次の申請資格に該当すると認められる方に対しては、本人の申請に基づき、選考の上、予算の範囲内で入学料の全額又は半額を免除する制度及び選考の上、入学料の納入を猶予する制度がありますので、希望する方は次の要領により申請してください。

平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震により本人又は家計支持者が被災した方については、「⑤問い合わせ先(担当)」にご相談ください。

① 入学料免除対象者〔申請資格〕

平成29年4月から平成30年3月までの間に、次の申請資格ア又はイのいずれかの特別な事情があり、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合には、入学料の免除を申請することができます。

ア 入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡した場合

イ 入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

② 入学料徴収猶予対象者〔申請資格〕

経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、又は上記「①入学料免除対象者〔申請資格〕ア又はイ」のいずれかに該当し、入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には、入学料の徴収猶予を申請することができます。(徴収猶予申請が認められた場合でも、納入すべき金額が減免されるわけではありません。)

③ 入学料免除・徴収猶予申請資格確認

入学料の免除又は徴収猶予を申請する場合は、入学手続きを行う前に、「⑤問い合わせ先(担当)」に上記の申請資格に該当するかどうかの確認(電話)をした上で、申請書を作成してください。確認なしの申請は受け付けません。※ 家計基準及び学力基準については、岡山大学ホームページにてご確認ください。

④ 申請方法

申請要領及び所定様式を岡山大学ホームページ(http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a1.html)からダウンロードし、必要書類を確認の上、申請書類を作成してください。

※ ダウンロードできない場合は、「⑤問い合わせ先(担当)」で取り寄せてください。

ア 申請書類

a 所定様式：入学料免除申請書(又は入学料徴収猶予申請書)、家庭状況調査収入状況等申告書、入学料免除・徴収猶予申請受付票

b 平成29年度(平成28年分)所得証明書(市区町村長発行のもの)

※ 入学する方と生計を一にする家族全員分が必要です。

c 平成29年分の収入に関する証明書類(源泉徴収票(写)、確定申告書(控)(写)、退職金・保険金等臨時的収入額が記載されたもの等)

※ 申請要領を確認の上、収入のある方について該当する書類を提出してください。申請時に提出できない場合は、後日提出してください。

- d 特別控除等に関する書類
 - ※ 申請要領を確認の上、該当する書類を提出してください。
- e 学資負担者の死亡を理由に申請する場合：死亡を証明するもの（除籍抄本、死亡診断書、埋葬許可書（写）のうちいずれか1点）
- f 風水害等の災害を理由に申請する場合：市区町村長が発行する罹災証明書（被害内容が記載されたもの）
- g 申請結果通知用封筒〔長形3号（縦23.5 cm×横12 cm）〕
 - ※ 郵便番号・住所・氏名を明記し、92円分の切手を貼付してください。
 上記以外にも、必要に応じて書類を提出していただくことがあります。
- イ 申請書類の提出について

申請書類は、各合格者の入学手続期限までに、入学手続書類に同封して提出してください。

なお、合格発表から入学手続までの期間が短い学部がありますので、必要書類等についてあらかじめ岡山大学ホームページでご確認の上、ご準備ください。
- ⑤ 問い合わせ先（担当）

岡山大学学務部学生支援課（一般教育棟A棟2階）
〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 TEL：086-251-7211

受付時間は、8時30分から17時00分です。（ただし、土・日曜日及び祝日は、窓口業務は行っておりません。）

 - ※ ③で、①又は②の申請資格に該当することが確認された場合で、申請要領及び「④ア a」の所定様式を郵便で請求する場合は、「入学料免除申請要領請求(又は入学料徴収猶予申請要領請求)」と朱書した封筒に、下記 i) ii) を同封の上、上記「⑤問い合わせ先（担当）」あてに送付してください。
 - i) 請求する申請要領、受験番号、氏名、受験した学部・学科等の名称、電話番号等の連絡先を明記した用紙（様式任意）
 - ii) 返信用封筒〔角形2号（縦33.2 cm×横24 cm）〕
 - ※ 郵便番号・住所・氏名を明記し、速達郵便料金485円分の切手を貼付してください。
 ただし、平成30年2月よりも前に請求する場合は、上記「⑤問い合わせ先（担当）」にご連絡ください。
- ⑥ 注意事項
 - ア 入学料を納入した方は、入学料免除（又は徴収猶予）の申請はできません。
 - イ 入学料免除（又は徴収猶予）の申請をした方については、選考結果が決定するまで入学料の納入が猶予されます。入学料を納入した場合、入学料免除を申請しても納入した入学料は返還されません。
 - ウ 入学料免除の選考結果が不許可又は半額免除であった場合及び徴収猶予の選考結果が不許可であった場合、その決定があった日から14日以内に該当の入学料を納入しなければなりません。
 - エ 徴収猶予が許可となった場合は、許可された期限までに、該当の入学料を納入してください。
 - オ 全額免除以外の場合で、指示された期限内に該当の入学料を納入しない場合、除籍となります。
 - カ 提出された申請書類の記載内容が資格確認時と異なっている場合等で、申請資格に該当しないことが明らかになった場合には、入学料を納入することとなりますので、ご承知おきください。

3 授業料の免除

本人の申請に基づき、選考の上、予算の範囲内で授業料の全額又は半額を免除する制度がありますので、平成30年度前半期分授業料の免除を希望する方は、合格後に発送される「入学案内」及び岡山大学ホームページで申請について確認の上、定められた期間内（4月上旬の予定）に申請してください。

免除の対象となるのは、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合及び平成29年4月から平成30年3月までの間に学生の学資負担者が死亡し、又は学生もしくは学資負担者が風水害の災害を受け、授業料の納入が困難であると認められる場合です。

なお、平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震により本人又は家計支持者が被災した方については、上記2の「⑤問い合わせ先（担当）」にご相談ください。

授業料免除を申請した方は、選考結果が決定するまで授業料の納入が猶予されます。

選考の結果、不許可又は半額免除になったときは、本学が指定する日までに授業料を納入しなければなりません。

4 女子学生寮

- ① 女子学生寮の概要（女子学生寮のみで男子学生寮はありません。外国籍の方は、日本国内に生計を持つ者の女子のみ応募できます。）なお、金額は変更になることがあります。

定 員	在寮期間	寄 宿 料 等	所 在 地	そ の 他
108 人 平成30年度募集予定 人員は新入女子学生 を対象に約30人程度 の予定	正規の修業年限	寄宿料 月額 4,300 円（予定額） 共益費 月額 5,500 円（予定額） その他光熱水料等は、別途各自 負担	〒700-0084 岡山市北区津島 桑の木町 6-2 TEL 086-251-7202	鉄筋コンクリート5階建 （昭和56年建築） 居室は個室 （ベッド、机、椅子、本棚、 ロッカー等備え付け）

- ② 入寮募集要項の請求

女子学生寮への入寮希望者は、入寮募集要項を平成30年1月12日（金）以降に、岡山大学ホームページ（http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_d3.html）から、ダウンロードしてください。

インターネットを使用できない場合は、封筒の表に「入寮募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒〔140円分の切手を貼付し、住所及び氏名を明記した角形2号（縦33.2cm×横24cm）の封筒〕を同封して、平成30年1月12日（金）から1月30日（火）（消印有効）までに、次の担当部署に請求してください。

【担当部署】

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 岡山大学学務部学生支援課(TEL 086-251-7185)

5 アパート等の紹介

アパート等を希望する学生に対しては、岡山大学生生活協同組合で紹介を行っています。

詳細については、次にお問い合わせください。

連絡先 岡山大学生生活協同組合 TEL 0120-633-006

E-mail sumai@okadai.coop 新入生のためのお部屋探し
(<http://vsign.jp/okadai/rent>)

6 福利厚生施設

津島キャンパスには、マスカットユニオン（北福利施設）、ピーチユニオン（南福利施設）及びピオーネユニオン（東福利施設）があり、施設内にブックストア、コンビニエンスショップ、食堂等があります。

また、鹿田キャンパスには、医学部記念会館にコンビニエンスショップ及び食堂等があります。

7 奨学金制度

- ① 日本学生支援機構の貸与型奨学金

人物、学業とも優秀かつ健康であって、経済的理由により著しく修学困難と認められる場合、本人の願出により選考の上、下表のとおり奨学金が貸与されます。なお、申請時期は学生支援課奨学金窓口までお問い合わせください。

奨学金の種類	貸与月額（平成29年度）	貸与期間	備 考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000 円	正規の修業年限	無利子
	自宅外通学者 51,000 円		
	自宅・自宅外にかかわらず 30,000 円		
第二種奨学金	30,000 円	正規の修業年限	利率固定方式と利率見直し方式より利子を選択（いずれも年3%が上限で、在学中は無利子です。）
	50,000 円		
	80,000 円		
	100,000 円		
	120,000 円		
	これらのうちから選択できます。		

② 各地方公共団体及び民間団体の奨学金

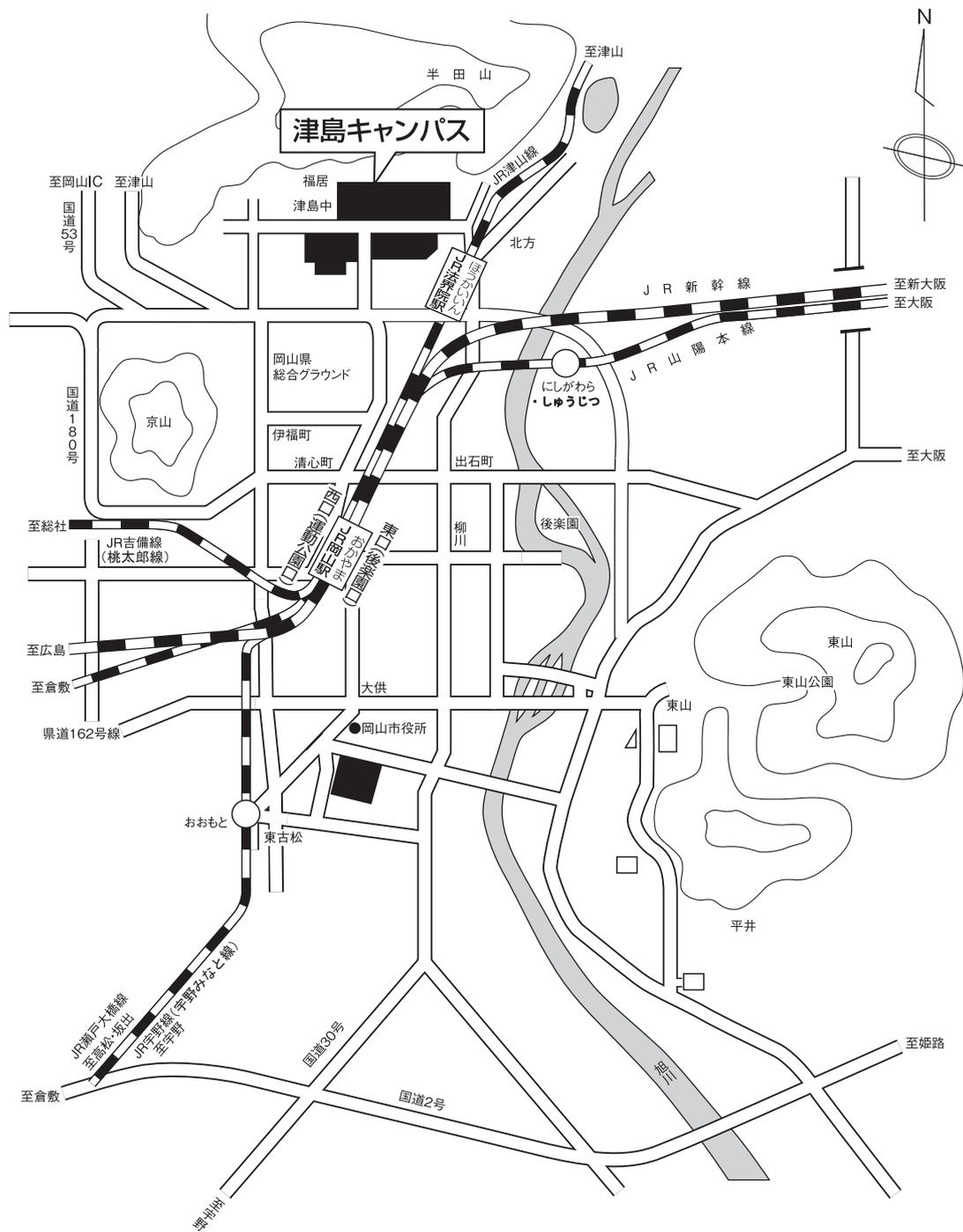
主なものとして、下表のものがあります。

なお、年度により募集がない場合等がありますので、応募を希望する場合は、募集の有無を掲示で確認してください。また、申請時期は団体により異なりますので、掲示で確認してください。

育英・奨学団体名		月 額 (平成 29 年度)	貸与・給付期間	貸与・給付別
地 方 公 共 団 体	岡山市奨学生	21,000 円	正規の修業年限	貸 与
	倉敷市奨学生	40,000 円	〃	〃
	山口県ひとつづくり財団	43,000 円	〃	〃
民 間	中村積善会	30,000 円	〃	給 付
団 体	檜山奨学財団	40,000 円	〃	〃

7 大学案内図等

1 キャンパス案内図





学 章

岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

<http://www.okayama-u.ac.jp/>